

2015-B

拠出金・基金の
名称

アジア諸国における3Rの戦略的実施支援事業拠出金

種 別

イヤーマーク ノン・イヤーマーク

【拠出先の国際機関名】国連地域開発センター

【所管官庁担当局課・室名】環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部企画課循環型社会推進室

【当該任意拠出金の目的・用途等】

アジア各国においては、3R国家戦略に基づいて、3Rや廃棄物管理の具体的な事業形成や政策立案を進める必要があるが、当該分野は、従来優先度が低いために実績に乏しく、また、これらの国では開発全般にわたって先進国の支援を必要としている。これまで我が国は3R国家戦略の策定を支援しており、国連機関との連携を通じて、各国での戦略の実施を促進し、アジアでの循環型社会構築に貢献することを目的とする。

アジア各国における3R関連の事業形成や政策立案を促進するため、各国間の政策対話の推進や多様な関係者間の協力等を通じてアジア太平洋地域の3Rを推進する閣僚級のプラットフォームである「アジア太平洋3R推進フォーラム」を開催するため、実施主体となる国連機関（国連地域開発センター（UNCRD））に対して拠出を行う。

【最近3年間の我が国支払額及びODA率】

単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率 (%)
平成27年度	29,700				100
平成26年度	26,190				100
平成25年度	22,140				100

【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】

各国における3R関連の事業形成や政策立案を促進するため、政府機関、国際援助機関、民間セクター等が参加する「アジア太平洋3R推進フォーラム」を開催している。同フォーラムや我が国の支援等の結果、ベトナム、インドネシア等アジア数カ国で3R国家戦略の策定が進んでいる。また、当フォーラムにおいては、アジア太平洋地域が23年までに目指すべき目標を掲げたハノイ3R宣言が採択され、各会合における当宣言に基づく具体的取組のフォローアップを通じて、各国の3R推進の後押しをしている。

平成27年11月にモルディブで開催された第6回会合では、アジア太平洋地域の39カ国から、閣僚級を含む300人超の参加者を得て、「3R産業—アジア太平洋地域における資源効率社会及び持続可能な観光開発に向けた次世代3Rの方向性」をテーマに議論、会合に先立ち、モルディブ民間リゾート企業によりマレ3R宣言が採択された。